

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 年 月 日

事業所名 こどもくらぶキジムナー

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・目的に応じて活用スペースを使い分けています。	・今後も継続して目的に応じて活用スペースを使い分けていきます。
	2 職員の配置数は適切である	7	0	・適切な人員配置をしています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2		階段やトイレなど手摺が設置され、室内はバリアフリーであるが、構造化された環境づくりも一つ、一つ進めていきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	・必要に応じて、屋外や施設外を利用してしています。	・子どもたちの活動に合わせた空間づくりの工夫をしていきたいと思います。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	・業務改善を心がけ、意見を出しやすいしています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	保護者向けのアンケートを共有し改善を図っており、毎年、ホームページにその自己評価結果を掲載しております。	掲載した際には、保護者様および職員へ周知してまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	事業所向け・保護者向けのアンケートを共有し改善を図っており、毎年、ホームページにその自己評価結果を掲載しております。	ホームページに掲載した際には、保護者様および職員へ周知してまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	第三者による地域の商工会、福祉コンサルタントへ相談して、評価を受け、業務改善に努めております。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	交代で外部研修の参加を行っております。直近では全職員で外部講師のメンタルヘルス研修などを行っております。支援する職員のメンタルヘルスなども含めて支援に繋がると考えています。	・資質向上のために事業所内・外の研修へこれからも参加していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・日頃より、保護者様及び関係機関などから情報収集し計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	・個々に応じた発達段階を理解し、ご家族と情報共有の中で支援を行っています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	・支援会議などで統一した支援、構造化の支援を提供できるようにしています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	・チームで活動プログラムを決めています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	・専門講師を招いたりして、プログラムを工夫しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6	1	小集団活動に主としながらも、個別の活動も大事にしてバランスよく取り入れています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・リーダー職員が中心となり、打ち合わせをして確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	なるべく話し合うようにしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・職員それぞれの視点を大事に記録し、話し合いを行うための時間を作っています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0			
関係機関や保護	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	・全職員の意見をまとめてふさわしい者が参画しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	・必要に応じて市町村の児童家庭課や関係機関と情報共有しています。	
	23 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	6		対象となる医療的ケアが必要なご利用者様はおられませんが、今後そのご利用者様のご利用される場合には関係機関と連携してまいります。
	24 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6		対象となる医療的ケアが必要なご利用者様はおられませんが、今後そのご利用者様のご利用される場合には関係機関と連携してまいります。

者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	・進学や進級へ向けてスムーズに移行できるように情報共有会議で申し送りをしてあります。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	・送迎の際に情報共有を図ったり、情報共有会議を実施しております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	・他事業所との情報共有会議を通して助言を受けたり、児童発達支援センターの助言を頂いています。	・4名ほど研修を受けさせて頂き、今後に活かしていきたいと考えております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6	コロナ禍で地域の児童館訪問するなど難しくはありますが、今後交流を図ってきたいと思います。	・インクルージョンを目指して様々なイベントなど来年度は是非交流の「場」を作っていければと思っています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6	・コロナ禍で参加することが難しくなりましたが、落ち着いた際に参加していきたいと考えております。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	・情報共有会議や送迎の際にその日の出来事を伝えています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	1	・対応力向上を図るために保護者様のお話をよく聞いて、事業所での成功事例をお伝えしています。	・普段か保護者の悩みに寄り添い、できたことなど、取ったことに対して褒めて伝えるようにしています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・いつでも相談が受けられるように体制を整えている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	・コロナ禍で保護者会をすることができなかつたが、落ち着いた際に保護者会を開催していきたいと思っております。	・保護者会を計画していましたが、コロナが落ち着いてから来年度は時期を検討していきます。 ・保護者様同士の交流を図るために事業所のお部屋を開放することを検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	・送迎時や電話などで保護者様の思いを傾聴することを心がけ、必要に応じて迅速に助言を行うようにしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・月の行事予定などを毎月配布しています。 ・ホームページを通して新しい職員を紹介しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・外部講師を呼んで事業所内研修を実施しました。	・来年度の研修計画へ取り入れていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・その子の特性を理解して接するように努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	・コロナ禍によって地域住民を招待することはできなかったが、地域との関わり方も大切に（こどもたちも）している為、また知ってもらうために役所の方へ作品を飾るなどを行った。	・インクルージョンを目指し、利用者様の成長と共に地域のつながりを深めていきたいと考えています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	3		・各対応マニュアルを再確認し、ファイルへ綴り契約時の際に保護者様等へ丁寧にご説明させて頂きます。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・総合防災訓練を実施した。	・今後も非常災害発生に備え、定期的に避難、救出の訓練を実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	・連絡帳への服薬依頼と処方箋を頂くようにしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	・食物アレルギーのある子へ食品を提供する際、心配なことがあれば保護者様へ確認をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・小さなヒヤリでも職員で作成してファイリングしております。	・振り返りを行うようにしていきたいと思っております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	・外部研修はもちろんの事、気になる子に対してはチェックを実施しています。	・今後も来年度の研修計画へ取り入れていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	5		・対象となるご利用者様はおりませんが、そのご利用者様がいらっしゃった際は、組織的に決定し、保護者の同意の上、計画に記載して参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。